

令和7年度 企業向け妊娠・子育て応援シンポジウム

近年の晩婚化や核家族化を背景に、仕事と育児との両立に悩みを抱えている家庭が増えてきていることから、希望する時期での妊娠・出産や、仕事と育児の両立支援について職場の理解を深め、従業員が働きやすい環境を整えることが重要だといえます。

今回は、育児と仕事の両立のポイントや、職場での両立支援について考える機会として、企業向け妊娠・子育て応援シンポジウムを開催しました。

令和7年度のシンポジウム内容

と き : 令和7年11月26日(水) 午後1時30分～3時
方 法 : Zoomによるオンライン開催

講 演

テーマ : ^{ともい}共育の視点で考える両立支援
～法改正を踏まえた実践と工夫～

講 師 : 働き方改革推進支援センター富山
社会保険労務士 岡本 尚美 氏



取組み紹介

テーマ : すべての人が“自分らしく”働き、育てられる職場へ
～シンコーの人を想う優しいかたち～

発表者 : 株式会社シンコー
取締役 室長 中川 麻恵子 氏

1 実施状況

- ・参加企業・団体 61社、83名
- ・参加企業のうち、希望のあったところを「妊娠子育て応援企業」として市のホームページに掲載（新たに4社が追加となり計189社を掲載）

令和7年度 企業向け妊娠・子育て応援シンポジウム アンケート結果

1 参加者

企業・団体 61社 83名（当日ZOOMでの参加：42社 アーカイブ配信視聴企業：19社）

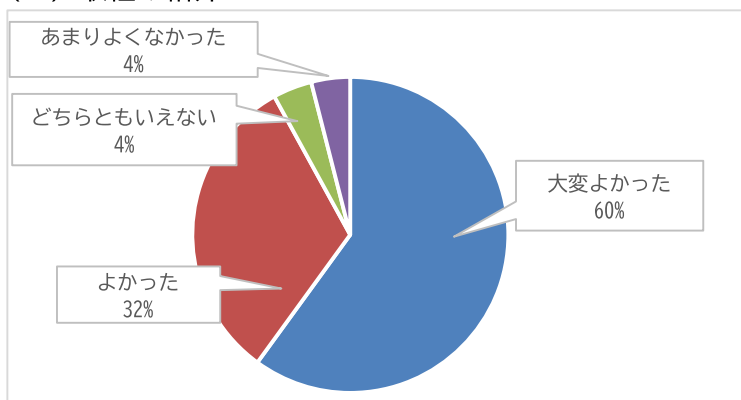
【内訳】

	企業数	参加者数
株式会社、有限会社	44	62
社会福祉法人等	6	6
病院、クリニック、医療法人等	4	5
その他	7	10
計	61	83

2 アンケート結果

参加者61社中、25社（41.0%）より回答あり

（1）取組み紹介について



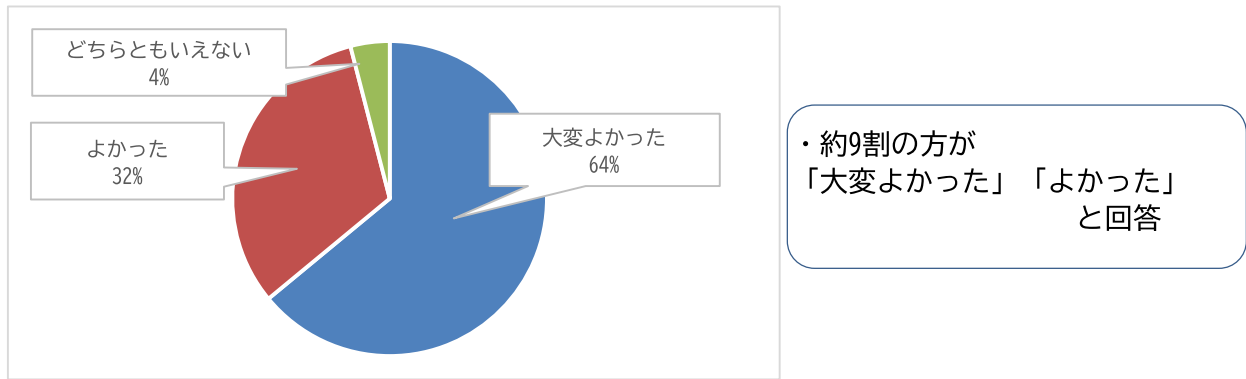
・約9割の方が
「大変よかった」「よかった」
と回答

【取組み紹介の感想】※一部抜粋

- ・女性に寄り添った働き方の事例が紹介されていてよかった。
- ・会社と従業員が一緒になって、より良い環境を作ろうと継続してきた結果、現在があるというストーリーがみえ、具体的な取り組み事例でわかりやすかったです。また、現場の意見をどのように集めて実現したのか、推進方法や紆余曲折もあればそれも聞きたかったです。
- ・教育、職場環境、健康経営の取り組みが素晴らしいです。
ただ働きやすいだけでなく、自分を大切にしながら働ける会社だということが伝わりました。
- ・「人を思う優しい会社」という目標を掲げられており、社内のみならず社会貢献活動までされていることに感銘を受けました。
また、子育て支援においてもより個人にフォーカスし、職員に寄り添った制度を作ろうとされていて、参考になりました。
- ・「この取り組みはぜひ当社でも実施したいな」と思うものばかりでした。
何より、この取り組みは何の目的で行っているのか、“働くすべての従業員が自分らしく力を発揮できる職場にする”“働く従業員、家族が心も体も健康でいられるようにしたい”という大きな理念のもとにあるということが強く伝わったため。
- ・いくつか興味深い取り組み事例がありましたので、早速上司に報告・提案しました。
- ・外部講師を招くという発想が今まで思いつかず、社内ですることばかり考えていたので参考になりました。
- ・「自分は後回し」というワーママあるあるの姿に対し、「自分を大切に・そして周りも大切に」というウェルビーイングな考え方を浸透させるのは、ありだなと思いました。（きっと定着に繋がるだろうと予想できるので。）
- ・子育て世代のみならず、すべての人を想うという気持ちがとても伝わってきたからです。
すべての人を想う会社だからこそ、子育て世代が安心して働けるのだという気づきを得ることができました。
- ・働く従業員だけではなく、それを支える家族や地域のことも考えていらっしゃるということが分かりました。

(2) 基調講演

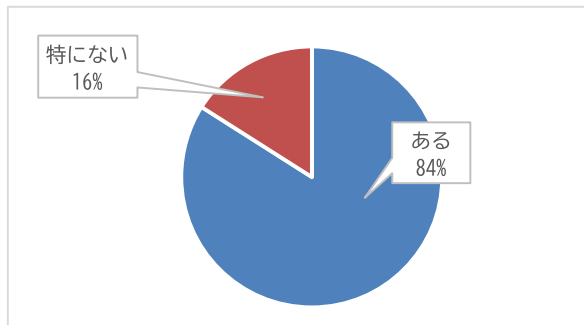
「仕事もプライベートも充実した人生を～女性の働き方・産みドキ・育てドキ～」について



【基調講演の感想】※一部抜粋

- ・ アンケートで参加形式が臨場感があって良かったです。また、たくさんの制度のおさらいができた。
- ・ 10月からの法改正のポイントがわかりやすく、また取得課題の解決例を提示していただき実際に活用したいと感じた。
- ・ 今期、来期と出産育児休業予定者が続く中、制度のポイントとこれからに向けて、するべき事を再確認出来た。
- ・ 1時間という短い時間ではあったが、とても分かりやすく丁寧な説明で、途中でアンケートを挟むことによって、他社の状況も分かり良かった。
- ・ 自分自身が育休への理解度が低かったため、とても参考になった
富山県の男性の育休取得率が50%を超えていると聞いて、驚き・嬉しく感じた。
対象の方が取得して、子育てしやすい世の中になってほしい。
推しの「パパ・ママ育休プラス」に関して詳しく学んでみようと思う。
取得日数の偏りの対策・解決策として、取得モデルを設定するのを社内に取り入れたい。
実際に取得した社員の事例を共有 ⇒ 育休に入るまでの流れ・ストーリーも併せて
- ・ 育児・出産のために管理職の方ともう少し話をし、少しでも働きやすい環境に変えていきたいと感じた。
- ・ 育児休業の制度の個別周知は、オリジナルで作成した資料を使って行っていたのですが、具体的にどのように伝えればいいのか参考になった。
- ・ これまでは職務に関係がなかったため、また当該対象者でもなかったため、全く制度について把握していませんでした。
仕事内容が変わり、まずは制度について理解すること。そして、今後は対象となる従業員が制度を利用する際に必要な手続きを正確に行っていきたいと思いました。
講演では、企業で取り組む際の方法やポイントを学ぶことができ、制度の周知や取得意向の確認は待ちの姿勢ではなく、面談を取り入れるなど工夫が必要ということがわかりました。
育休取得の様々なパターンや、実際の例などを用いて説明するのが有効的など、とても参考になりました。
- ・ 産後パパ育休を取得する事例がなかったので、あまり意識してこなかったのですが、可能性として本会の職員の中で今後発生することもあるので、このタイミングで聞けてよかったというのが実感です。
- ・ 育休制度については内容がなかなか覚えられず悩んでいたのですが、資料がわかりやすく良かったです。今後参考にさせていただきます。
- ・ 当事者、あるいはこれからの当事者でないと、なかなか詳しく知ろうと思わない（興味を持たない）分野なのかなと感じます。人事担当として法改正はチェックしていますが、記憶するのが難しいです。対象者がいたらやっと勉強しないと！となる自分です。
- ・ 男性の育児休業制度はとてもややこしい印象があったのですが、パパママ育休プラスによりママが仕事復帰後すぐの時期に両親が支えあうことができる、というように男女共に仕事と育児を両立させるための大切な考え方のもとに成り立っている制度だと理解することができました。
- ・ 出産育児の法改正には、改正のスピードに追い付くのがやっとの状態で、詳しく説明してくださって非常にわかりやすかったです。なかでも、育児休業の取得については、弊社でも課題が山積しており、その解決例を出していただいたことで、今後の解決の糸口になるかと思っています。

(3) 職場等で話題にしたり取り入れてみたいと感じた内容がありますか



【話題にしたい内容、取り入れたい内容】※一部抜粋

- ・ 該当者が取得しやすい環境づくりのため、産休・育休や復帰についての面談シートを活用や管理職の理解度を高めていきたい
- ・ ノー残業デーの曜日固定を週1日に変更すること
- ・ 夫婦で取れる育休について、もっと具体的に周知しなければいけないと思いました。
- ・ 職場の課題解決例の中の引き継ぎテンプレートの標準化は取り入れたいと思いました
体験談の共有とその方法として社内で水平展開することが全社的な理解を進めるという説明が心に残りました。現場の対応力を引き出す、という視点に気づけたのが良かったです
- ・ 従業員に対してのケア（個別相談会や会社負担での女性付加検診やインフルエンザ集団予防接種）
- ・ 男性の育休取得率（50%を超えていること）
3歳から小学校就学までの、柔軟な働き方を実現するための措置
- ・ 以前、介護離職防止に関連する情報提供の場を設けたが、数回発信しただけだったので、もう少し継続的にやれればと感じている。
- ・ お金の相談会はぜひやってみたいと思いました。（子育て世代が多いので）
- ・ 教育の機会提供（お金の相談会など、従業員がポジティブ思考になるようなもの）、従業員が自身の健康を考える機会の提供（カウンセリング、アクティビティ）
- ・ 「女性のための救急箱設置」について、直ぐにでも女性職員の声を集めて用意したいと思いました。
- ・ 福利厚生をどんどん良くしているけれど、個別カウンセリングのようなケアは当社にはなく、キャリア形成やメンタルケアを充実させていきたいなと個人的には思っています。
- ・ 「健康経営優良法人認定制度」を取り入れてみたいです
- ・ 産休・有休復帰支援面談シートを厚生労働省のHPからダウンロードして活用したい。
- ・ 職場研修や必要に応じてアンケート形式でニーズや就業規則等への反映につなげたい。

(4) 次年度以降に取り上げてほしいテーマ等

	回答数
育児と介護、仕事の両立	15
企業の妊娠・出産・子育て支援の取り組み	12
男性の育児休業制度	11
育児休業からの復帰	9
テレワークの現状	9
妊娠・出産・子育ての現状	6
育児休業中のサポート	6
不妊治療等の現状	6
富山市の子育て支援（保育所入所等）	5
企業内保育所の運営	1

(5) 今後、市の取り組みとしてあるとよいもの

	回答数
従業員に配布できる、妊娠・出産の基礎知識や不妊治療等に関するリーフレット	17
人事担当者向けのシンポジウム	15
従業員向けの健康教育	1

【シンポジウムについて、感想、意見、要望】※一部抜粋

- ・ズームでの参加は、とても受けやすかった。
- ・制度が目まぐるしく変わるので、企業がやらなければならないことが増えていき、対応に追われている状況において、色々な会社の事例を知れてとても役立ちました。
- ・弊社ではモデルケースがおらず、従業員に具体的な産休・育休のスケジュールや体験談等を共有することができない状況にあります。実体験や参考になる資料等がよりあるとイメージがしやすいと感じました。
- ・今後もこのような企画をお願いいたします
- ・講演は、大変わかりやすいものでした。資料についても分かりやすいので、参考にさせていただきます。
- ・zoom開催は参加しやすく良かったと思います。事前に資料を送って頂けたので当日の準備が不要で楽でしたが、数日前にメールで送付してもらうのも良かったと思います。今回はタブレットで参加したのでカメラ付きでしたが、自分のデスクで参加する場合も多くカメラは付いていません。今回の内容であれば、デスクの方がその場でタスクメモを作れ、より良かったと思います。
- ・妊娠・子育てに関して、日々法律が変わり、補助金を申請できる環境になっているが、社労士の方も言っておられたが、色々と煩雑で分かりづらい。補助金に関しての説明会があれば助かる。
- ・次回も楽しみにしています。ありがとうございました。
- ・会社・自分自身の為により深く知らなければと思う内容ばかりでした
またの機会がありましたらよろしくお願いいたします
- ・子育てをしている従業員が少なくこれから出産・育児をしていく若い世代もいるので会社の育休を取りやすくしたりできる体制を整えていきたいと思いました。